事系	务事業	事業評価シート1−1 □は、プルダウンメニューから選択								事系	事務事業No. 06 - 11					11								
事	業	分	類	√	ソフ	1		ハー	ド	□ 必	需	公的	勺 関	与	7	3	作」		28	年	5	月	23	日
事	務事	業	名	災害	予防	対策	事剂	务									シ	_	١	· "	ŧ	成	部	署
総合	# -	上施	Mc	1 3	安全	•安/	ンな	まち									課名	環均	竟防急	災課	係名	危	機管:	理室
計	本 /	14. 加图	朿	1-1	安:	全・を	安心	のま	ちを	つくる	5						シ —	卜作	成者					
画上	<u></u>		A-4-	1-1-1 消防・防災対策の充実											会	計			一般					
の	施		策														予算	爿	次		9			
位置				2	地域	しての	防災	٤力σ)強(Ľ							費	Į	項		1			
付け	主	更施	策	3	災害	時要	援討	養者 対	対策(の充実							目		3				4	
.,				東員	町地	域防	災言	+画																
41	固別計	├画名	i																					
住	民	ے	 の	関	ゎ	IJ-	その	他																
	対象	(誰	を、	何る	を)						目的	ځ) (ځ	ういう	5 状態	態に	した	いの	か)						
事業		町、									防災	後 資機相	才の書	と備、	充乳	実を	図る。	: ط ط	もに	、町	総合	防災	と 訓糸	棟や
の												i所開語 iの各は												
対象												全では												
•																								
目的											内容 (どのような方法で、何を行うのか) に、自主防災組織の活動をサポートするとともに、自治会の防災組織への財政支援を行っている。災害対策用備蓄物資の備蓄を に進める。資機材及び避難所管理体制については急務であることから、自治会・学校と協議を進める。災害時要援護者避難支													
~ ~	援については、自治会長と民生委員に配布した災害時要								よ忌伤!	じめるし	てめることがら、日泊会・子牧と協議と進める。欠日時安後設督を 者台帳を最新の情報に更新し、地域の実情に合わせた形で個別計画 の申請により、家具転倒防止器具設置を行い、災害時の避難路確修								王無又					
•										災害時要	要援護 きんりょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんしん かんしん かんし	者台帳を	₽最新0				、地域	の実情	青に合					画の策
内容		進める								災害時要	要援護 きんりょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんしん かんしん かんし	者台帳を	₽最新0				、地域	の実情	青に合					画の策
内容	定を達 努め	進める る。	。ま	た、タ	対象世	世帯(6 5 ;	歳以上		災害時 世帯等)	要援護者 からの	者台帳をの申請に	を最新の こより、	家具	上転倒	防止	、地域器具設	の実情	青に合うい、	災害	诗の;	避難品	路確保	画の策 保等に
内	定を達 努め	進める		た、タ	対象世		6 5 ;			災害時要	要援護者 からの	者台帳を	₽最新0	家具	上転倒		、地域器具設	の実情	青に合うい、	災害	诗の;	避難品		画の策 保等に
内容事	定をi 努め ²	進める る。 性	。 斯	:た、 ⁵	対象世間	昭和	6 5 ;	歳以上	.のみ 	災害時 世帯等)	要援護者 からの	者台帳をの申請に	を最新の こより、	家具	上転倒	防止	、地域器具設	の実情	青に合うい、	災害	诗の;	避難品	路確保	画の策 保等に
内容事	定をi 努め ²	進める る。 性	。 斯	:た、 ⁵	対象世間	昭和「災害」	6 5 i	平成	.のみ :法	災害時 世帯等)	要援護者 からの	者台帳をかける。	を最新の こより、	家具	年	度(、地域器具設	の実情	情に合うい、	災害	期間	野難師 引設!	となって	画の策 保等に
· 内容 事 根 —	定努・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	進める る。 性	。 事	要綱	間等	昭和「災害」	6 5 i	平成	.のみ :法	災害時到 世帯等) 年月	要援護者からの	者台帳をかける。	を最新り、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	家具	年	度 (、地域器具設	の実情	情に合うい、	災害!	期間	目設!	となって	画の策 し
· 内容 事 根 —	定努・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	進める * 令	。	を と 網) A-	間等	昭和「災害」	6 5 i	平成	.のみ :法	災害時到 世帯等) 年 (決算)	要援護者からの	者台帳をかける。	を最新り、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	家具	年	度 (、地域器具設	の実情	情に合うい、	災害!	期間	目設!	路確保 定な (算)	画の策 し
- 内容	定努・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	進る。 * 令 (=	。 期 ・ 門 支	を と 網) A-	対象世 間 等	昭和「災害」	6 5 i	平成	.のみ :法	災害時等) 年 年 (決算) 15,	要援護者 からの 変	者台帳をかける。	を最新り、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	家具	年	度 (と算) 27,	、地域器具設	の実情	情に合うい、	災害!	期間	目設!	路確保 定な 算) 14, (画の策 し
・内容 事 根 全 財源	定努・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	性る。 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	。 期 ・ 門 支	た、 [†] 上 と	时 間 等 +B 金	昭和「災害」	6 5 i	平成	.のみ :法	災害時等) 年 年 (決算) 15,	要援護者からの 変 337 0	者台帳をかける。	を最新り、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	家具	年	度 (と算) 27,	、地域器具設 333	の実情	情に合うい、	災害!	期間	目設!	路確保 定な 算) 14, (回の策 民等に し D23
· 内容	定努・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	性る。 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 大学では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	。 期 ・ 所 支 方	を 	対	昭和「災害」	6 5 i	平成	.のみ :法	災害時等) 年 (決算) 15,	要援護される。 337 0 565 0	者台帳をかける。	を最新り、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	家具	年	度 (と算) 27,	、地域器具設 333	の実情	情に合うい、	災害!	期間	目設!	密確保 定な (算) 14, (回の策 民等に し D23
・内容 事 根 全 財源内訳	定努・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	# 令 で で で で で で で で で で か い か い か い か い か い	。	## Description	対 + B 金金債源源	昭和「災害」	6 5 i	平成	.のみ :法	災害時等) 年 (決算) 15, (要援護者からの 337 0 565 0 0 796	者台帳をかける。	を最新り、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	家具	年	度 (27 , 2,	333 066 291	の実情	情に合うい、	災害!	期間	目設!	を (事) 14, ((す) 3, ((す) 7, (す) () () () () () () () () ()	回の策 発等に D23 894 000 153
・内容 事 根 全 財源内訳 直	定努・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	uta としては、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	。	上 要) A · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	対 + B 金金債源源	昭和「災害」	6 5 i	平成	.のみ :法	災害時等) 年, 15, 3 11, 12,	要援護表からの 337 0 565 0 0 796 361	者台帳をかける。	を最新り、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	家具	年	度 (27, 2, 22,	333 066 291 357	の実情	情に合うい、	災害!	期間	目設!	定な 算) 14, (3, (7, :	回の策 発等に D23 894 000 153 047
中内容 事 根 全 財源内訳 直人	定努・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	# 令 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	。	# P B D B D B D B D B D B D B D B D B D B	対 + B 金金債源源 A	昭和[炎害]	6 5 j j j j j j j j j j j j j j j j j j	職以上 平成 [基本 26年]	.のみ :法	災害時等) 年月 15、 11、 12、 2、	度援護される。 337 0 565 0 796 361 976	者の申請に	平成27	家具	年	唐 (全算) 27 , 2, 22, 24,	333 066 291 357 976	年間	情に合う。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	父害()	期間	目設!	算) 14, (3, (7, 11, (回の策 発等に D23 894 000 153 047 976
中内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内	定努・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	tao と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	。 期	要	対 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** <	四和 [災害: 3 0.4	6 5 j j j j j j j j j j j j j j j j j j	平成 [基本 26年]	.のみ :法	災害時等) 年, 15, 11, 12, 2, 2,	度援護表からの 337 0 565 0 796 361 976 706	者 台帳 話 合 中	E最新り、 平成27	家具	年	唐 (全算) 27 , 2, 22, 24,	333 066 291 357 976 706	の実性を行っています。	青に合い、 引) 平月 . 41	災害□ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓	期間	目設!	定な 第) 14, (3, (7, 11, (2, 12, 13)	回の策 発等に し 023 894 000 153 047 976 706
中内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内	定努・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	# 令 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	。 期	要	対 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** <	四和 [災害: 3 0.4	6 5 j j j j j j j j j j j j j j j j j j	平成 [基本 26年]	.のみ :法	災害時等) 年, 15, 11, 12, 2, 2,	度援護される。 337 0 565 0 796 361 976	者の申請に	E最新り、 平成 7. 成27 1. 人	家具	年. (**)	度 (建算) 27, 2, 24, 2,	333 066 291 357 976 706 270	の実性を行っています。	事に合う。 ・ 41 ・ 15	災害	期間	明報 印	算) 14, (3, (7, 11, (2, (で で で で で で で で で で で で で で
中内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内	定努・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	tao と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	。 期	要	対 + B 金金債源源 A 円)	四和 [災害: 3 0.4	6 5 j j j j j j j j j j j j j j j j j j	議以上 平成 [基本 26年]	.のみ :法	災害時等) 年, 15, 11, 12, 2, 2,	度援護表からの 337 0 565 0 796 361 976 706	者 台帳 話 合 中	平成27 1 人 人	年度	年. (沙	唐 (全算) 27 , 2, 22, 24,	3333 066 291 357 976 706 270 E	の実体のでは、	表示に合う。 ・ 41 ・ 15	災害	時の説明に	明報 印	等) 14, (3, (7, 11, (2, (2, (2, (2, (2, (2, (2, (2	回の策 で等に し つ23 894 000 153 047 976 706 270 度
中内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内	定努・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	tao と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	。 斯 所支 方特 (千) (人)	網		四和 [6 5 j j j j j j j j j j j j j j j j j j	議以上 平成 [基本 26年]	.のみ :法	災害時等) 年, 15, 11, 12, 2, 2,	度援護表からの 337 0 565 0 796 361 976 706	者の申請に 2 平 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	平成27 1 人 人	年度	年. ()	度 (建算) 27, 2, 24, 2,	333 066 291 357 976 706 270 E 実利	の実を名	表示に合う。 ・ 41 ・ 15	災 288 人 人 8年 標	時の説明に	明報 印	定な (算) 14,(3,(7, 11,(2,9 2,9年) (目標	で で で で で で で で で で で で で で
中内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内訳 成	定努・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	# 6	。 斯 斯 下支 方特 「) 八人 防	## A H H B F F F F E A H A H A H A H A H A H A H A H A H A	* B 金 金 債 源 源 A P)	四和 [災害: 3] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1	6 5 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	議以上 平成 [本本 26年]	。のみ	災害時等) 年, 15, 11, 12, 2,	度援護表からの 337 0 565 0 796 361 976 706 270	者の申請に る の の も 単位 %	平成27 1 人 人	年度	年 (沙	度 (建算) 27, 2, 24, 2,	333 066 291 357 976 706 270 E 実利	の実を名	表示に合う。 ・ 41 ・ 15	災害	時の説明に	明報 印	定な (事) (14, (3, (7, 11, (2, 12, 12) (11, (100)	回の策 で等に し D23 894 000 153 047 976 706 270 度 製)
中内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内訳 成果指	定努 拠 事国県地そ一事費 ― 臨 ① ② *** *** *** *** *** *** *** *** ***	#a	。 斯 門 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	## D 出 定 財 円 B ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	対 1 等 B 金 金 債 源 A 引 引 成 の 交	昭和 [6 5 j j j j j j j j j j j j j j j j j j	議以上 平成 [本本 26年]		災害時等) 年, 15, 11, 12, 2, 2,	度援護表からの 337 0 565 0 796 361 976 706 270	者の申請に 2 平 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	平成27 1 人 人	年度	年 (沙	度 (建算) 27, 2, 24, 2,	333 066 291 357 976 706 270 E 実利	の実を名	表示に合う。 ・ 41 ・ 15	災 288 人 人 8年 標	時の説明に	明報 印	定な (算) 14,(3,(7, 11,(2,9 2,9年) (目標	回の策 に し D23 894 000 153 047 976 270 度 ()
中内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内訳 成	定努 拠 事国県地そ一事費般時 ①②③	#ao と 今 で で で で で で で で で で で で で で で で で で 	。	## 2 	対 間等 B 金金債源源 A 引 り 成 の 災 つ	世帯 (昭 災 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	6 5 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	歳以上 平成 [本 26年] 人人	. のみ	災害時等) 年 (決算) 15, : 11, 12, 2,	度援護表からの 337 0 565 0 796 361 976 706 270	者か申請に つ、4 の、4 の、1 単位 % %	平成27 1 人 人	年度 100 50	年 (沙	度 (建算) 27, 2, 24, 2,	333 066 291 357 976 706 270 E 実和 100 55	の実を名	表示に合う。 ・ 41 ・ 15	災害人人8年月10060	時の説明に	明報 印	定な (算) 14,(3,(7, 11,(2,) (目標 100 65	回の策 に し D23 894 000 153 047 976 270 度 ()
中内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内訳 成果指	定努 拠 事国県地そ一事費般時 ①②③	#ao と 今 で で で で で で で で で で で で で で で で で で 	。	## 2 	対 間等 B 金金債源源 A 引 り 成 の 災 つ	世帯 (昭 災 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	6 5 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	歳 平 基 年 人 人 く	. のみ	災害時等) 年 (決算) 15, : 11, 12, 2,	度援護表からの 337 0 565 0 796 361 976 706 270	者か申請に つ、4 の、4 の、1 単位 % %	平成27 1 人 人	年度 100 50	年 (沙	度 (建算) 27, 2, 24, 2,	333 066 291 357 976 706 270 E 実和 100 55	の実を名	表示に合う。 ・ 41 ・ 15	災害人人8年月10060	時の説明に	明報 印	定な (算) 14,(3,(7, 11,(2,) (目標 100 65	回の策 に し D23 894 000 153 047 976 270 度 ()

事務事業評価シート1−2 事務事業No. 06 -										-	11						
事業	名	災害	予防対策事務									シート作成課 環境防災					
	一岁	文評値	通者 環境防災課長					二岁	と評り	西者		生活部長					
						一次	二次		一次の	一次の評価又は説明							
	要求	2. 社 3. 利 4. 住 5. 国 6. 国 7. 民	会情勢の変化: 用者、対象者(民ニーズを上) や他市町と比! や県のサービス	的を概なというというなどはいるというというできます。 のはいるかとでは、 のはないできまれるできませる。 のは、 のは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	ともに事業開 ニーズの低下 提供となってい ごスの対象や水 いる。	始時の目的が 傾向がみられ る。 準を見直す余	変化してきてい る。	いる。 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			自主防ジ り、その 高いもの	一次の計画又は説明 慶等の広範囲な災害に対応する と防災組織による初動対応が そのサポートを行う事業のよう いものです。また、計画的な信 そも必要です。					
50	有効性	2. 施3. 施	接しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。								めに、自 ものです 家具転倒	域における自助、共助の推進だる。 に、自主防災組織の活動支援(のです。 具転倒防止器具設置も災害時の に有効な施策です。			援は有	効な	
評価		1. 事	業開始時の目	標設定に比べて	進捗状況が劣	っていると思	 う。										
項目の説明	達成度	2. 事	業開始時の目	標に比べて成界 していると思う	いあまり上が				■	□ ■ □	意識の見	民の災害時における防災、自助、‡ 哉の更なる向上が図られるように、 の推進を図ります。					
明	効率性	2. 現 3. 他 4. 他 5. 事 6. 電	在の事業実施の実施主体のの実施主体の の実施主体を 業実施してい 子化等の事務	主体の他に効率 ノウハウを活用 活用しても公平	区的に事業を実 引できる。 で性・公正性等 所の見直しによ 、ト削減の余地					0000000	災害への 取組事例 また、町	員町として、未だ経験をしたことのないだまへの対応を効率よく行うために他市町の組事例等を研究する必要があります。だ、町内の防災、自助、共助関連事業をでけ、総合的な災害予防対策を行う必要があます。					
						本国	務事業	の実施谚	切性	<u>-</u>	説明						
	中心 大震	いとし 夏災カ	った地域∙ ヽらの被 [:]	住民によ	必要かつ 平時から	不可欠な	ょもの	りで	あり、そ	での対応は難しく、自主防災組織を、そのサポートは必要な事業です。 とした地域住民の防災対策、減災対							
			必到	更性	有交	有効性 達成度			効率性			総合評価					
	評	価	4	4	4	Ť	(3	4		4	(7) (6)	3	8	<u>,</u>		
_												(2)	D (5)		6		
次	今後		•	休・廃止			見直し		総		継続			拡大			
評価	方針										0						
Щ	今後の 改革・ 改善 目標		ホームペ	ージ等で	情報発信しており に住民が自ら考え		ます。今	くの化	主民(に町防災詞	プの見直しを行ってお 防災訓練、自主防災組紀 して行っていきます。						
					有交	性	達用	戊度		効≥	率性		総合	評価			
	評	価	4	4	4	Ļ	3			4	4	(7) (6)	B D		8 <u>A</u>		
次												(2)		(6)			
評価		後の	休・廃止				見直し				継続	売		拡大			
Т	方針								0)							
		ト	自主防災組織は年々活発となって来ております。更なる地域全員で、災害時要援護者避難支援等 がスムーズに実施できる、実情に合った災害対策を検討していく必要があります。												等		
二次対す																	
	i協値		いつから	5 平原	戊	年原	度から	5 その 意してい	の他、	参	画・協働	に関して	、制度.	上、道	堂上,	、留	